

# 江戸川区歯科医師会50周年記念講演会

## 演者のプロフィール

### 演題

～口腔がんを乗り越えて～ 今だからこそ知ってほしいこと

Overcoming oral cancer - What you need to know now -



### 演者

堀 ちえみ HORI Chiemi

歌手・女優

第6回ホリプロタレントスカウトキャラバンで芸能界入り

1982年3月 「潮風の少女」でデビュー

1983年 出演したドラマ「スチュワーデス物語」が日本中で大ヒット

現在 7児の母となり、テレビ出演の他、教育や食育にまつわるトークショー、音楽活動と幅広く活動中。

著書『Stage For～舌がん「ステージ4」から希望のステージへ』(扶桑社)を刊行

2019年2月4日：「口腔癌(左舌扁平上皮癌)ステージ4」の告知を受ける。

その検査の際には右リンパ節へ転移も見つかる。

2019年2月19日：術前入院。ブログにて病状を公表する。

2019年2月22日：手術当日。太ももの皮膚を舌に移植を行う手術は、11時間にも及んだ。およそ1年半の間、療養とリハビリに励み、2020年8月22日『24時間テレビ43』にて「リ・ボ・ン」=reborn(再生)を歌う。手術直後の様子や、その後のリハビリ・ボイストレーニングを経ての変化、食事の変化、気持ち・考え方の変化など、対談形式でお伺いする。

<堀ちえみさんからのメッセージ>私は舌がんの告知を受けました。そして手術を受けて、その後のリハビリを経て、今の私が存在しています。がんになってしまったことは、とても辛い経験ではありましたが、様々なことを学び、多くの喜びや家族の絆など、良いことだけに目を向けて、懸命に生きています。術後に言語の障害も残ってしまいましたが、いつも前を向いて希望を失わずに今は来年予定している、デビュー40周年記念ライブの実現に向けて、リハビリに励む毎日です。こうして元気に過ごしていること全ての皆様に感謝して。

### 演題

いまこそ知りたい!口腔がん

Now is the time to learn! Oral cancer -



### 演者

柴原 孝彦 SHIBAHARA Takahiko

東京歯科大学千葉歯科医療センター

1979年3月 東京歯科大学卒業

1993年6月 ドイツ・ハノーバー医科大学客員講師

2004年4月 東京歯科大学口腔外科学講座主任教授

2012年4月 東京歯科大学口腔がんセンター長

2020年 東京歯科大学名誉教授、口腔顎顔面外科学客員教授

鉄蕉会 亀田総合病院口腔外科顧問

2022年 同大学歯科医療センター長補佐

コロナ禍中、大変な歯科診療を強いられていることと拝察する。今、我々は新型コロナウイルスCOVID19に翻弄されているが、将来はポストコロナではなく、withコロナを考えた新たな医療体制の構築が重要となるであろう。歯科は患者と対面し、視診と触診を施し処置を加えて成り立つ医療行為なため、オンライン診療は不向きと考えられてきた。そんな中、高齢者への感染対策の一環として摂食嚥下の分野でオンライン診療の試みが、先日、日本老年歯科医学界で発表された。口腔粘膜の診察も再度見直しが必要かもしれない。今回の講演では、この辺にもフォーカスを当てて口腔がん早期発見の新たな試みを解説し、この新知見を活用したオンライン診療モデルも紹介を行いたい。もちろん従来どおりの視診と触診を主体とした口腔粘膜診察法についても解説を行う。

口腔がんのほとんどが多段階発がん機構に則って発症することから、口腔潜在的悪性疾患(以前の前期癌状態と前期癌病変)の悪性能をreal timeに評価できることが重要な鍵となる。口腔粘膜の健常組織から口腔粘膜疾患の病理まで、臨床症状ともあわせ多くの口腔粘膜病変を診ていただく。口腔がんの治療は、第一発見者である先生方の歯科診療室から始まる。歯科衛生士も含めた歯科医療従事者によって救える命があることを再度ご確認いただきたい。